

福島県PTA連合会会報
第31号_H03.02.28



福島市黒岩字田部屋53-5
福島県青少年会館内
福島県PTA連合会
電話0245(45)5982
発行人 櫻井和朋
印刷 泉孔版印刷所
電話57-1071



この一年を省みて

県連PTA会長 櫻井 和朋

会長職について一年、県PTA連合会の持つ役割の大きさを再認識し、先人達の良き伝統を守りながら、日々変容する社会情勢の中で、あるべき姿を求めて、一歩でも前進しようとする毎日です。幸いにも、三役、理事をはじめ、県下会員の皆様の暖かいご支援・ご協力を得て、現在までの行事を、滞りなく遂行する事が出来、幾分か安堵しております。

さて、今年の特に大きな出来事を振り返って見ますと、第一に、学校五日制の話題が、次第に大きくなって来たと感ぜら

れます。日本PTAの調査によりますと、多くの保護者は、否定的な見方をしておりますが、生涯学習体系への移行という大きなうねりの中で、受皿作りに問題を残しながらも、早晚実施の方向へ向かって行くような気がいたします。

第二に環境浄化の取組みがありました。カラオケボックス、ダイヤルQ2、大手出版社等による刺激的なコミック誌の出版等です。本県におきましては、これらによる直接的な青少年非行は、まだ数多くは見られませんが、全国的に見れば、随

分多くの非行事例があげられ、それぞれの対策が練られました。しかし、対策をたてれば充分とはいえない性質の事柄ですので、常に目を離さない姿勢が必要と思います。一方、汚染に対して抵抗力のある、心身ともに健全な子供達の育成も肝要かと存じます。

いま、卒業期という締め括りの時期を目前にして、私達の歩いて来た道が、PTA本来の目的に向って真直ぐであるか、と常に自問しております。本会の一層の伸展の為に会員皆様の、建設的なご意見をお寄せ下さい。

輝く文部大臣・日本PTA

東北PTA会長表彰受賞

平成二年度

◎ 菊かおる平成二年十一月十九日、東京ベイヒルトンホテルにおいて、表彰式が盛大に举行された。

山口 豪志
(前県連PTA副会長)
木藤 忠行
(前県連PTA副会長)

席上、文部大臣、日本PTA会長から、多年に亘りPTA活動に尽力した功績を讃え、表彰状、記念品が贈られた。

本県関係の栄に輝いれ方々は、次の通りである。

◇文部大臣表彰

◎団体表彰
いわき市立小
名浜第一小学校
PTA

南会津郡田島町立田
島小学校父母と教師の
会

◇日本PTA会長表彰

◎団体表彰
白河市立小田川小学
校PTA

伊達郡梁川町立富野
小学校父母と教師の会
◎個人表彰



馬目 佳彦
(前県連PTA副会長)
飛田 昭栄
(前県連PTA副会長)

◎ 東北PTA表彰式は平成二年九月八日、秋田市文化会館において開催された東北PTA研究大会秋田大会開会式席上行

われ、感謝状・表彰状が贈られた。

本県関係の栄に浴した方々は、次の通りである。

◇感謝状

斎藤 元
(前福島県連PTA会長)

◇表彰状

◎団体

二本松市立平石小学校父母と教師の会

岩瀬郡長沼町立長沼中学校父母と先生の会

会津若松市立第四中学校父母と教師の会

耶麻郡磐梯町立磐梯第一小学校父母と教師の会

南会津郡南郷村立南郷中学校父母と教師の会

◎個人

大塚 守

(前県連PTA監事)
宗像 源一

(前県連PTA理事)
藤田 祐太郎

(前県連PTA理事)
阿部 進翼

(前県連PTA理事)
小野 哲

(前県連PTA理事)
堀川 巨夫

(前県連PTA理事)
中村 幸吉

(前県連PTA理事)

《岩瀬》生徒の健全育成を図るPTA活動

長沼町立長沼中学校PTA

本校は、奥羽山脈の東斜面に接する長沼町の中央に位置し、田園地帯の環境に恵まれた所であり、生徒数三〇〇名の学校であります。

私達のPTAは民主教育の向上を図るため、父母と教師とが真実な愛情と協力により、生徒の教育に対して責任を分かち合うと共に、会員の親睦と教養を高め、学校、家庭、社会における教育環境を



(町の歴史、文化について講師より説明を聞く会員)

整備し、子供たちの福祉を増進していくことを目的として組織的にPTA活動を展開してきました。その成果が平成二年度、岩瀬郡連P、県連P、東北連Pより優良団体として表彰され、PTAの誇りとなっております。活動の中核は各専門委員会、学年委員会、意欲的に事業に取り組んで、事業を遂行してきたことは本校PTAの特色であります。本年度より家庭教育学級を開設し生徒の健全育成を図るため会員の知識の向上と会員相互の親睦と教養を高めるため、六回の講座を開きました。それぞれの講座ともテーマをもって講師の先生のお話を熱心に聞き、各家庭のいろいろな悩みや問題点を話し合うことができ、生徒の健全育成におおきな役割をはたしております。講座の内容を校生活について、中学生

のからだのしくみ、非行について、進路について、音楽鑑賞、地域の文化について、講師に専門の先生をお招き、内容のある講演を聞くことができました。音楽鑑賞については山形交響楽団による生演奏を生徒たちと共に、素晴らしい演奏を聞き、親子が音楽の魅力、感動を覚え、ふれあいに有意義なものでありました。

地域の文化については、地域社会の教育環境を考える上で、地域の歴史や文化を知る事ができ、よりよい成果が得られるものと思えます。

以上が家庭教育講座の内容であります。

今後、生徒の健全育成を図るPTA活動を、学校、家庭、地域社会と一致協力して推進していきたいと思っております。

* * *

特色あるPTA活動

《石川》地域ぐるみのPTA活動

石川郡玉川村立川辺小学校PTA

玉川村は、脚光を浴びる福島空港の地で、石川郡の北西部、東に平田村、南は石川町、西は阿武隈川をはさんで矢吹町と鏡石町、北は須賀川市に隣接して位置している。その玉川村の南部を学区としているのが、川辺小学校である。学校の沿革は古く、明治六年に川辺村の小学校として開設され、以後、幾多の変遷を経ながら、大字を一区として、小学校を維持発展させてきた。現在の校舎が建設されて十四年になる。

区民の教育に対する関心は高く、協力的であり、その中核となるPTA活動は重視されている。

全戸数二三〇戸、区内人口一、一二四名、児童数一〇〇名、PTA会員数八一名(内職員一〇名)、賛助会員一三六名で、ほぼ全戸が何等かのかたちで、PTAとのかかわりをもっている。

総予算約四〇万円で、支出の中で委員会活動費の占る割合が最も多く、三九%である。

会費は月額、在校第一子二五〇円、第二子以下一五〇円、賛助会費年額

七〇〇円となっている。PTA役員は、任期二年で、区内の各方部から推薦され、互選して係を分担し、六年間で一度は役員として参加するのが慣例となっている。役員会は夜間(午後七時)開催している。

なお役員は、子ども会育成会の役員を兼ね、校外補導副委員長が会長になる慣例ができています。

教育活動やPTA活動への参加率は、いずれも、九〇%前後で、授業参観は年間七回、懇談会五回、日曜参観、講演会、早期奉仕作業年二回、プール監視協力、校外補導、運動会協力、研修旅行・親子ハイキング(隔年)などが主な行事である。

運動会、学習発表会、七夕音楽祭への参観も他地域に比し多いように思われる。敬老参観、伝承遊びに対する老人の指導・協力などは特徴的な地域性である。



(奉仕作業の協力)

本会は、学区全体の区民にささえられ、一体となって運営されており、地域ぐるみで子どもを守り育てる理念に立っている。

浪江町立大堀小PTA

本校PTAの特色としては、先に述べた専門委員会等の活動の他に、学校と家庭・地域社会との

その中でも、小づかいの使い方等に関しては、

学校・家庭一体となつて取り組み、小づかいの与え方や使い方、小づかい帳への記入の仕方等について大変な成果が見られPTAとしても喜ばしく思っています。

次に、本校は、PTAが母体となり、スポーツ少年団が組織され、子ども達の心身の健全育成を図っています。

PTA会長が後援会長となり、陶器業等の自営業者が多いため、本校のPTAだけで指導にあたっています。

少年団には、野球部、ソフトボール部、剣道部



(スポ少の指導にあたるPTA)

があり、子ども達への負担も考え、週二回、二時間程度の練習をしています。

練習後は帰宅が遅くな

るため、保護者のほとんどが迎えに来るため、子ども達の活動を見ながら親同志の会話もはずみます。さらに毎年九月には後援会主催の町内の招待大会を実施するため、子ども達も励みにがんばっています。

以上、本校のPTAの活動の特色のようなことを述べてきましたが、学校と家庭・地域社会が一致協力して活動に取り組む土壌があるからこそ、このような社会体育の方面にまで活動の手が伸びるものと思っています。

特色あるPTA活動

原町市立石神中学校PTA

本校は、原町市北西部に位置し、古くは二宮農法で知られた純農村地域であった。最近市街地のベッタウンとして人口増加、ここ数年会員数も増し、五七二名の中規模校である。

締結と同じに協力支援を開始し、ロゼット校生徒の来校時のホームステイ受け入れ、歓迎行事開催時の野馬追をはじめとした、地域文化の紹介や会員相互の国際理解を深めるための教育講演会を開くなど実施してきた。

◇活動の内容と経過
一、ロゼット校生徒の

来校
昭和六十二年九月と平

ヤー州ハロゲート市のロゼット・ハイスクールと姉妹校の締結を行ない、国際交流活動を推進している。

中世の騎士道の歴史を今に残しているハロゲート市のロゼット校生徒の来日を機会に、

野馬追の里、原町
妹校締結を要請、
学校がこれを受け
流活動をすすめて

本会PTAも、姉妹校



(ホームステイ
生徒の登校)

成二年五月の二回、計二十五名の来校生があり、本校生家庭にホームステイをしながら、学校内外で体験活動、日本の家庭や家族との交流、市内他校訪問による交歓会の活動を行ってきた。

二、石神中学校生の訪英
昭和六十三年五月十名の生徒が訪英し、相馬流れ山踊りや野馬追の騎馬武者姿、ほら貝の披露など、地域文化、武士道の紹介のイベントを行なった。また、本年五月には市内三校生各二名と本校生十名の訪英も決まり現在準備中である。

本校の交流活動は緒に
ついたらばかりで、成果は
これからであるが、本会
員の中には、英語の生徒
を受け入れる協力ばかり
でなく、自分達も、もっ
と地域の文化についての
研究をしたり、英会話の
勉強しようという動きが
でてきている。

真の交流を末永く継続するために会員の国際理解を深める研修会や各種行事への参加など、初期の目的を達成するための健全なPTAを進めて行きたい。

(県北会場でのセミナー)



「勇気をだしてその場で注意する。」「学校に通

意見が飛び交いました。私達のグループは中学生のお母さん達六名で、

「もしたばこを吸って報して対策を考えせらるう。」「個人的に注意するあなたならどうしますか。」と逆恨みされたり、我が子に返ってくることもある。等々。時には脱線することもたびたびありましたが、その中から市内

△県北方部▽

思い新たに

川俣中PTA 沢田 由紀子

PTA活動のあり方や、母親としての役割等について研究を深め、PTA母親リーダーとしての資質の向上を目指す「第十一回県PTA母親リーダーセミナー」が、今年度も十月から十一月にかけて県内四万部で開催された。

△会津方部▽

意義ある学校生活を送る為に

田島中学校PTA 湯田 涼子

の学校には市内の学校の、つて「などと慢心する山間部には山間部の、それなりの悩みがあることも知り得ることができ、れればと、新たな思いに大変勉強になりました。親として「家の子に限

母親セミナーに参加して

△県南方部▽

母親リーダーセミナーに参加して

大越小PTA副会長 琴田 雪子

昨年十一月十六日須賀川公民館で各地域から、四十九名の母親会員の方々が集まって、母親リーダーセミナーが開催され、私も参加させて頂きました。初めての参加で不安と緊張感で一杯でした。

講師の先生が会議を楽しく始めるには、身近な話題から須賀川の伝統行事の明松あかしについての話をされ、参加者の

研修後半では、奉仕作

業活動についての話し合いが行なわれましたが、どの学校でも実施はしているが、地域性の違いもあって、いろいろな意見等もできました。研修のまとめとして、講師の先生の助言をいただき、研修会も大盛況の中有意義に終わることができました。

この研修会で学んだ事を自分なりに地域活動に活かしていきたいと思えます。

わらけてくれました。自分の子供の事を話す時の目は皆さん輝いていました。私達のグループは六人でした。六人の中でもいろいろな問題を抱え悩んだり苦しんだり、またそれを乗り越えたりした人もいました。まして学校全体となると、いじめからはじまり、登校拒否そして自殺にまで発展しかねない有様です。そこ

△浜方部▽

信頼される親に

富岡二中PTA副会長 新田 京子

先日、女子高生監禁殺人事件の総まとめ、「かげろうの家」を読んで、あらためて考えさせられました。

十一月二十九日広野町

あのような事件になる前に何とか出来なかったものだろうか、やるせなく、悲しく、むなしく、寂しく、胸が締めつけられる思いでした。何でこんな事かと思いましたが、この本を読んで、どうにもならなかった事がわかる様な気がしました。二十

一世紀を担う若者をつくり上げる私達母親は嘘のない愛情ときびしさをもちて将来に向かって、羽ばたける様もっと、子供に

で私達グループの話し合いのまとめとして、学校にだけ負担かけず、家庭や地域が一体となって大切な中学時代を、偏差値や勉強だけに終わらせず中学生らしく生々と意義ある生活が送れるよう少しでも協力し役立ちたいと結びました。皆さんにまたお逢いしたい程意味深い研修会でした。

相馬からいわき市までの賢なるお母さん達と出会い、お友達になれた事を、とても感謝致します。

習字 最優秀 作品

第13回

子どもの災害事故防止 習字 輝く入賞者決まる

第十四回子どもの災害事故防止
止ポスター・習字展の審査は二
月六日と七日に福島県青少年会
館で行われ、習字一五一点、ポ
スター四四点の入賞が決まった。
今年は、習字、一四七校から二、
六八八点、ポスターは六八校か
ら五三〇点の応募があった。
習字の審査は、蓬萊東小学校

教諭本間貞二氏と福島大学教育
学部附属小学校講師桑原兵永氏
が、ポスターは、元福島第四中
学校力丸毅氏が一点一点慎重に
審査した。各学年五つの学校代
表作品のため、子どもらしい力
作がそろい、生き生きとした力
強い作品が多かった。

にじ ゆめ 用心 元気

小坂小 一年 高原 大輔

桃見台小 二年 渡辺 純子

福大附属小 三年 渡辺 晃

八沢小 四年 渡辺 祐子

▲ポスター

【小学校の部】

◇最優秀賞

高橋 愛(奥川小一年)
菊地 妙子(明和小二年)
井関 優(坂下小三年)
富田 祐貴(清水小四年)
佐藤 圭子(清水小五年)
佐藤智恵子(清水小六年)
優秀賞
いとうあさこ(飯豊小一年)相
萩津 朋子(草野小二年)相
菊地 沙織(明和小三年)

◇優良賞

川村 国央(草野小一年)相
長山 和憲(小名浜一小二年)
安部 良美(塩川小三年)
吉田 友香(桜丘小三年)
磯谷 直史(森合小三年)
山中 岳瑠(千里小四年)
吉田 崇朗(清水小四年)
斎藤 香織(清水小四年)
亀岡奈美江(磐崎小五年)
山内 明子(清水小五年)
穴沢 良大(根本屋小五年)
大木 智広(柴宮小六年)

◇佳作

小林まさし(柏城小一年)
五十嵐 繁(大塩小一年)
渡部 雅俊(荒海小二年)
相川 公一(小名浜一小二年)
貝津 美来(塩川小三年)
吉田 悠介(城西小三年)
斎藤 幸弘(森合小三年)
山岸 淳(清水小四年)
斎藤 彩子(森合小四年)
梁取 健(南郷二小四年)
桑沢 信子(須賀川一小五年)
三浦加代子(好間二小五年)
富田 瑞人(清水小五年)
星野 美穂(桜丘小六年)
三浦 由希(原町二小六年)

ポスター最優秀作品

【中学校の部】

◇最優秀賞

根本 恵(四倉中二年)

◇優秀賞

岡部 華子(須賀川一中二年)

◇優良賞

柴田 晃枝(鹿島中三年)

◇佳作

鈴木 美穂(四倉中二年)
高坂恵美子(須賀川一中二年)



奥川小 一年 高橋 愛



明和小 二年 菊地 妙子



坂下小 三年 井関 優

安全

山口 聡

蓬萊東小 五年 山口 聡

健康

三輪香澄美

桐山小 六年 三輪香澄美

発展

佐藤公美

磐崎中 一年 佐藤 公美

躍進

菅野知子

本宮一中 二年 菅野 知子

躍進

鈴木登美子

郡山四中 三年 鈴木登美子

▲習字

【小学校の部】

◇最優秀賞

高原 大輔(小坂小一年)

渡辺 純子(桃見台小二年)

渡辺 晃(福大附属小三年)

渡辺 祐子(八沢小四年)

山口 聡(蓬萊東小五年)

三輪香澄美(桐山小六年)

◇優秀賞

井上 貴子(城南小一年)

やすだかつみ(小名浜一小一年)

半谷友希子(平二小二年)

おがわゆうき(綴小二年)

鈴木 夏実(一箕小二年)

田仲木綿子(郷ヶ丘小三年)

猪狩 佑子(平二小三年)

荒井 康之(坂下小三年)

白井 千恵(清明小三年)

真田 祐美(綴小三年)

高根沢みり(白河二小四年)

柳田 紘克(桃見台小四年)

宗形 有未(行徳小四年)

古関 可織(福大附属小四年)

荻 哲郎(綴小四年)

佐久間 崇(福大附属小五年)

池田 絵美(湯本小五年)

西沢 祥子(須賀川三小五年)

深沢 正人(宮小五年)

関内 千絵(郷ヶ丘小五年)

阿部 諭史(清明小六年)

荒川 桂子(護教小六年)

深谷和佳子(白河二小六年)

◇優良賞

おぐらようこ(一箕小一年)

小山 琴世(護教小一年)

すがのとしえ(桃見台小一年)

ほんださとし(本宮小一年)

たかのりょう(磐梯一小二年)

ねもとてつや(竹貫田小二年)

渋谷健一郎(福大附属小二年)

わたなべひろゆき(磐崎小二年)

佐藤 隆康(竹貫田小三年)

国分 理恵(本宮小三年)

小池 祐介(河東二小三年)

小平 裕子(行徳小三年)

清野 明(小国小三年)

菅野 武義(福大附属小三年)

児玉 大輔(水保小三年)

太田 雅之(本宮小四年)

八代貴美子(安積二小四年)

池田 裕美(湯本小四年)

星 瑞恵(城北小四年)

斎藤 美子(八幡小四年)

山田 満久(平二小四年)

加藤 宏章(平四小四年)

菅野 直美(福沢小五年)

相楽由美子(二本松北小五年)

五十嵐陽子(広瀬小五年)

高橋 樹理(塩川小五年)

佐藤 直子(原町二小五年)

風神 尚枝(磐崎小五年)

山名 博之(夏井小五年)

高橋芳代子(蓬萊東小六年)

大内 貴子(二本松北小六年)

成田 裕幸(桃見台小六年)

野地真理子(東山小六年)

【中学校の部】

◇最優秀賞

佐藤 公美(磐崎中一年)

菅野 知子(本宮一中二年)

鈴木登美子(郡山四中三年)

◇優秀賞

石川 美紀(塙中一年)

山口 恵美(北会津中二年)

山川 武(若松三三年)

◇優良賞

嶋原 広美(川俣中一年)

横山 健一(川俣中二年)

岡崎 真琴(磐崎中三年)

◇佳作

立花 貴子(北会津中一年)

星 祥子(松陵中一年)

横田 尚子(西袋中一年)

菊地 知子(塙中二年)

渋谷亜谷子(郡山四中二年)

斎藤 善治(若松三三年)

岩淵真理子(北会津中三年)

五十嵐 剛(明和小六年)
早川 悦子(宮小六年)
柴田 美香(磐崎小六年)



失ってしまった物は

戻ることができませんか

四倉中 二年 根本 恵



清水小 六年 佐藤智恵子



清水小 五年 佐藤 圭子



清水小 四年 富田 祐貴

福島県PTA安全互助会加入状況と事故件数 (H. 3.2.12 現在)

区分 地区	小・中学校別						事故件数		
	小学校		中学校		合計		学 童	PTA	合 計
	単P数	加入率	単P数	加入率	単P数	加入率			
福 島	47(26)	97.9	23②	100.0	70	98.5	271 (1)	19	290
達 南	12(3)	100.0	3	100.0	15	100.0	38	1	39
伊 達	30(14)	100.0	8	100.0	38	100.0	107 (1)	19	126
安 達	33(12)	100.0	10	83.3	43	95.6	88 (2)	11	99
郡 山	59(5)	96.6	24	92.3	83	95.4	162 (1)	41	203
岩 瀬	23(5)	95.8	5	38.5	28	75.7	97 (1)	6	103
石 川	26(8)	100.0	7②	87.5	33	97.1	98	1	99
田 村	38(12)	100.0	16	100.0	54	100.0	107	5	112
西白河	27(12)	100.0	14	100.0	41	100.0	140 (1)	1	141
東白川	21(7)	95.5	4①	100.0	25	96.1	43 (2)	1	44
若 松	18	100.0	8	88.9	26	96.3	71 (2)	5	76
北会津	16(7)	100.0	6	100.0	22	100.0	59	1	60
両 沼	18(8)	100.0	6①	60.0	24	85.7	43	1	44
大 沼	10(2)	100.0	4	100.0	14	100.0	26	1	27
耶 麻	29(10)	90.9	11①	78.5	40	83.3	63	5	68
南会津	19(1)	100.0	11	100.0	30	100.0	42	3	45
いわき	53(10)	74.6	27①	64.3	80	70.8	55 (1)	31	86
双 葉	19(7)	100.0	11	100.0	30	100.0	87	15	102
相 馬	32(16)	100.0	13①	100.0	45	100.0	138 (3)	27	165
合 計	530(165)	95.3	209⑧	85.3	739	92.3	1,735(15)	194	1,929

()は幼稚園数, ○は養護学校(福島・耶麻・相馬) ()は死亡事故件数

・分校(石川・両沼・いわき)

県PTA安全互助会だより

学童死亡者 十五名

平成三年度より改訂

本年度は県下小中学校の九二%にあたる七三八校の加入をいただいた。

二月十二日現在で、一九二九件の給付件数となり、その内十五名もの学童が事故により死亡した。年々増加する傷害事故をみると、PTA会員も学童も安心して活動できるよう、より充実した制度を推進していく必要がある。

福島県PTA安全互助会は昭和四九年創設以来会員となったPTA、幼小中学校の児童生徒およびPTA会員のいろいろな事故について総合的な補償を行ってきた。このたび、平成三年四月よりさらに充実した補償制度の確立を目指して、児童生徒の賠償責任補償を新しく設定するとともに、補償額の引き上げ等の改

訂を実施することとなった。

については、児童生徒、PTA・PTA会員の諸

活動の安全確保や安全意識の向上のため、ぜひ、会員としてご協力いただきたい。

加入申込みについては五月二〇日まで申込み、会費納入の場合、四月一日よりの会員資格を得るので、早めに申し込みをお願いしたい。

県小中学校新聞コンクール 入賞校決定!

せんだん

(門田小PTA)

鳥和の森

(鳥川小PTA)

わかたけ

(金谷川小PTA)

〇入選

若あゆ(浪江中PTA)

城北時報

(城北小PTA)

PTA会報

(一箕中PTA)

しおかぜ

(中村二中PTA)

かわかぜ

(城西小PTA)

うつみね

(須賀川三小PTA)

こだま(保原小PTA)

こだま(高田小PTA)

おやまだ

(小山田小PTA)

もちづり

(岡山小PTA)

〇学校新聞の部

〇最優秀

飛翔(松陽中第三学年)

〇優秀

須中タイムス

(須釜中学生徒会)

須二中タイムス

(須賀川二中学生徒会)

〇入選

南とさわ (南戸沢小)

双小だより (双潟小)

杉の子 (田人二小)

平成三年度

行事予定

・県連P評議員会(総会)

六月五日

・日P高知大会

八月二二日・二三

・東北P鶴岡大会

九月六日・七日

・県P会津若松大会

九月十三日・十四

編集後記

▼会報31号の編集の最中に多国籍軍がイラク攻撃に踏み切り、湾岸戦争となった。▼先の大戦を小学校生活の中で体験してきた編集子にとって、ニュースの一つ一つが心痛む思いであった。▼会報の最終校正の中で湾岸戦争終結。ほっとすると共に、失われた多くの人命と地球環境の破壊を思わずにはいられない。▼次代を担う子どもたちの幸せを願うPTAとして、何ができるのだろう、こんな思いを込めて31号をお届けします。